

# インマヌエル中目黒キリスト教会 2016年10月23日聖日礼拝

---

聖日礼拝

「人生マイノリティー流」

ゼパニヤ書

3章1節～20節

河村従彦牧師

# 聖書朗読 旧約聖書

## ゼパニヤ書

### 3章1節～20節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 1414 ページ

第三版の聖書は 1541 ページ

- 1 ああ。反逆と汚れに満ちた暴力の町。
- 2 呼びかけを聞こうともせず、懲らしめを受け入れようともせず、主に信頼せず、神に近づこうともしない。
- 3 その首長たちは、町の中にあってほえたける雄獅子。そのさばきつかさたちは、日暮れの狼だ。朝まで骨をかじってはいない。
- 4 その預言者たちは、ずうずうしく、裏切る者。その祭司たちは、聖なる物を汚し、律法を犯す。

- 5 主は、その町の中にあって正しく、不正を行わない。朝ごとに、ご自分の公義を残らず明るみに示す。しかし、不正をする者は恥を知らない。
- 6 わたしは諸国の民を断ち滅ぼした。その四隅の塔は荒れ果てた。わたしが彼らの通りを廃墟としたので、通り過ぎる者はだれもない。彼らの町々は荒れすたれてひとりの人もおらず、住む者もない。
- 7 わたしは言った。「あなたはただ、わたしを恐れ、懲らしめを受けよ。そうすれ

ば、わたしがこの町を罰したにもかかわらず、その住まいは断ち滅ぼされまい。確かに、彼らは、くり返してあらゆる悪事を行ったが。」

8 それゆえ、わたしを待て。 主の御告げ  
わたしが証人として立つ日を待て。  
わたしは諸国の民を集め、もろもろの王国をかき集めてさばき、わたしの憤りと燃える怒りをことごとく彼らに注ぐ。まことに、全地はわたしのねたみの火によって、焼き尽くされる。

9 そのとき、わたしは、国々の民のくちびるを変えてきよくする。彼らはみな主の御名によって祈り、一つになって主に仕える。

10 クシュの川の向こうから、わたしに願い事をする者、わたしに散らされた者たちが贈り物を持って来る。

11 その日には、あなたは、わたしに逆らったすべてのしわざのために、恥を見ることはない。そのとき、わたしは、あなたの中からおごり高ぶる者どもを取り

去り、あなたはわたしの聖なる山で、二度と高ぶることはない。

- 12 わたしは、あなたのうちに、へりくだった、寄るべのない民を残す。彼らはただ主の御名に身を避ける。
- 13 イスラエルの残りの者は不正を行わず、偽りを言わない。彼らの口の中には欺きの舌はない。まことに彼らは草を食べて伏す。彼らを脅かす者はない。
- 14 シオンの娘よ。喜び歌え。イスラエルよ。喜び叫べ。エルサレムの娘よ。心の

底から、喜び勝ち誇れ。

15 主はあなたへの宣告を取り除き、あなたの敵を追い払われた。イスラエルの王、主は、あなたのただ中におられる。あなたはもう、わざわざを恐れない。

16 その日、エルサレムはこう言われる。シオンよ。恐れるな。氣力を失うな。

17 あなたの神、主は、あなたのただ中におられる。救いの勇士だ。主は喜びをもってあなたのことを楽しみ、その愛によって安らぎを与える。主は高らかに



歌ってあなたのことを喜ばれる。

18 例祭から離れて悲しむ者たちをわたしは集める。彼らはあなたからのもの。そしりはシオンへの警告である。

19 見よ。その時、わたしはあなたを苦しめたすべての者を罰し、足のなえた者を救い、散らされた者を集める。わたしは彼らの恥を栄誉に変え、全地でその名をあげさせよう。

20 その時、わたしはあなたがたを連れ帰り、その時、わたしはあなたがたを集める。わたしがあなたがたの目の前で、あなたがたの繁栄を元どおりにするとき、地のすべての民の間であなたがたに、名誉と栄誉を与えよう、と主は仰せられる。

# 説教

聖日礼拝

「人生マイノリティー流」

ゼパニヤ書

3章1節～20節

河村従彦牧師

# ・ゼパニヤについて

A . 書名、著者  
ゼパニヤ

B . 年代と背景  
ユダの王、ヨシヤの時代  
ヨシヤの治世はB.C.640 ~ 609年

C . 預言された事情

# ・主が語られたメッセージ

## A ・主を求めること

へりくだり、主を尋ね求めよ  
主がただ中におられる

## B ・レムナント性

- ・少数派である恵み

- ・レムナントを喜ばれる

1)喜び 2)楽しみ 3)愛 4)安らぎ

- ・レムナントを用いられる

- ・レムナントの誤解

～ユダヤの選民意識

## ・ 多数派と少数派

### A ・ 少数派であること

- ・ 慣れてしまった日本人クリスチャン
- ・ 体制派への警戒心
- ・ 信仰的にはそもそもタフなことを「無意識の中で」し続けている

# ・ 多数派と少数派

## B . マイノリティー流

( 1 ) 私は多数派の方々から信頼を頂ける  
少数派なのか？

( 2 ) 本質的な問題

今の私達が多数派を見てどのように感じる  
か？

自分達が多数派になったときのこと

( 3 ) 少数であるというみ守り

## ( 4 ) 多数派としても生きられる私なのか？

- 1) 多数派になることが必ずしも福音の拡大ではない
- 2) 政教分離 ~ 近代国家の基本  
多数派のゆるさを批判
- 3) イジメの力動
- 4) 福音は少数派に敬意を表する本質を持っている
- 5) 少数派から尊敬を勝ち取るような多数派になれるか



# ・福音が本来持つ少数派性

A ・ 神さまの祝福の皮肉

B ・ 信仰の成長

(1)信仰はピュアになって行く

(2)パリサイ主義と恵み

C ・ 集まることの意味

しめくくりには：

やむを得ないマイノリティー

あなたのただ中におられる